

(様式1-2) 新規評価シート

事業名		治山事業		路河川名等	—					
事業毎の通番		1	市町村名	坂城町	箇所名(ふりがな)	胡桃沢(くるみさわ)				
事業の位置づけ	県総合5か年計画における位置づけ	1-2 ① 災害に強いインフラ等の整備の推進		SDGsの関連目標						
	関連する計画や重点施策	第3期長野県強靱化計画		関連する事業プロジェクト	なし					
	現状と課題	当該地は、風化が進んだ岩が露出する山腹斜面となっており、令和5年6月に落石が直下事業所に直撃し、建物が損傷した。この落石で人的被害はなかったものの、保全対象として下方に事業所、主要地方道長野上田線(県道)があり、今後、落石・拡大崩壊が発生すると、人命・財産や交通に影響が生じる恐れがある。								
	事業目的	落石・拡大崩壊を予防するため、山腹工を施工して斜面の安定を図る。								
事業概要	着手年度	2024年度(令和6年度)		事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完了年度(予定)	2026年度(令和8年度)					国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容	土留工100m、ロープ伏工1,000m <sup>2</sup> 、筋工300m				112,100	56,050		44,840	11,210
事業概要	 <p>(箇所名) 埴科郡坂城町 宇 胡桃沢</p>		<p>平面図</p>  <p>計画箇所</p>							
	 <p>落石</p>		 <p>落石により事業所建物に被害</p>		 <p>落石の発生源である風化岩類</p>					
	主な受益対象	人家1戸、工場2棟(換算戸数7戸)、県道190m								
	期待される効果	事業を実施することで、落石が予防でき、直下保全対象への被害防止が期待できる。				費用便益比(B/C) ※B=便益、C=費用	2.2			
人口減少を踏まえた将来の活用見込み	人口が減少しても、主要地方道長野上田線は生活道路として活用される見込みである。									
計画熟度	地域からの要望経緯及び地域の関わり	落石被害後、事業所及び坂城町から治山事業の強い要望がある。また、事業予定箇所は土砂流出防備保安林にすでに指定されている。								
	事業説明等の経緯	事業実施についてR5.8.24に坂城町に連絡。同日、坂城町を通して事業所にも周知。								
評価結果	所管課の意見	当該地は、地質が脆弱な荒廃森林であり、岩盤の風化が進行しており、令和5年には落石が発生し、直下の事業所への被害が発生している。今後、降雨等による落石の発生により、直下事業所及び県道への被害や森林の荒廃が進行する恐れがあることから、対策工を実施する必要がある。						妥当性評価※	優先度評価※	
	政策評価室の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。						○	3.1	
	県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—		評価の決定	事業着手			

※【妥当性評価】事業実施の妥当性を「○」「×」で判定 ※【優先度評価】事業着手の優先度を5点満点で評価(数字が大きいほど優先度が高い)